図書館だより

霜月 しもづき 11月
令和 8年11月 5日

高志館高等学校図書室
文責　塚原

11月号

季節は少しずつ秋へ！
今月は、13・14日(金・土)
高志祭があります。
14日には半日だけ、図書室内でのカフェを行う予定です。
（後日、詳しい案内をしますのでお楽しみに！）

⇒生徒が描いてくれました。



新着図書

殺人事件に巻き込まれて走っている場合ではないメロス

五条 紀夫【著】



自身の身代わりとなった親友を救うため、3日で故郷と首都を往復しなければならないメロス。しかし妹の婚礼前夜、新郎の父が殺された。現場は自分と妹しか開けられない羊小屋。密室殺人である。

注　目

それ犯罪かもしれない図鑑

小島 洋祐【監修】



現役弁護士が監修。知らなかった？それ、つかまるよ。法律について学び、安心・安全な生活を。遅く

注　目

あの時こうしなければ・本当に危ない闇バイトの話 － ハンディ版



廣末登/芳賀恒人【監修】

知らぬ間に犯罪行為をさせられる「闇バイト」が、10代～20代の間に広がっている。一度、手を染めたら簡単にはやめられない恐怖のバイトに、どうしたら誘われずに済むのか。マンガで事例を紹介。

お知らせ

貸出１人１０冊まで２週間。
開館時間　平日8:30～16:50

新着図書案内

カンヌ国際映画祭出品作

すべて真夜中の恋人たち

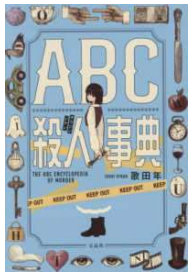


川上 未映子【著】

「真夜中は、なぜこんなにもきれいなんだろうと思う。」心迷うすべての人にかけがえのない光を教えてくれる。

このミス大賞シリーズ

ABC殺人事典　歌田 年【著】



アルファベット26字に因んだショートミステリーに、著者が隠したメッセージとは？ ぜひその手で暴いてみせてほしい。

ビブリオバトル佐賀県大会決勝で紹介

35年目のラブレター

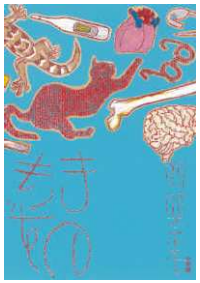


小倉 孝保【著】

「挑戦するのに遅すぎる事はない」を伝える勇気の書、ついに文庫化！

おススメ本

きずもの　西 加奈子【著】



小説家・松川貢は、郷里の幼馴染みである田持猛とゆるやかにSNSで繋がり続けていた。

運動が得意だった猛は、貢にとって仰ぎ見る存在だったが、いまやその関係性は真逆のものになっていた。

町は今日も　寺地 はるな【著】



男性中心の自治会の在り方、外国人住民への差別、保護者夫婦間のモラハラ問題。目の前の出来事に怒り、落ち込み、迷いながら、千緒は子ども会の活動を通し、「町」と「自分」を見つめ直していく。

サイン本です!!

探偵小石は戻らない

森 バジル【著】



2026年本屋大賞8位入賞本の『探偵小石は恋しない』続編！

名探偵のように事件を解決する日を夢見る、ミステリオタクの探偵・小石。

国際刑事裁判所は屈しない

戦争犯罪と闘う　赤根 智子【著】



「世界で起きていることが日本では起きないとは限らない」。「力による支配」がむき出しになりつつある今こそ「法の支配」による安全保障が必要だ。

なぜ日本が世界に必要なのか

エマニュエル・トッド【著】



世界の行く末は、第二次大戦の敗戦国である日独の選択にかかっている。対米追従を深めるドイツに対し、日本はどうするのか？

春までのセンセイ　早見 和真【著】



新年度に発表された3年E組の担任は、中年の国語教師だった。最初は冴えないと思っていたけれど、先生の言葉はなぜだか心に響いてくる。それなのに夏休み直前、先生は病気で学校を辞めるというウワサが流れて…。 クラス全員がバトンをつなぐ、一生に残る一年間の物語。